

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザインは、横浜市内の資源回収業者の組合(140業者が加盟)による
市民と組合員にリサイクルの情報・回収の現状を伝えるための情報誌です

雑誌は捨てずに
リサイクル

あなたは グリーン コンシューマー？

あなたは買い物をするとき、それを買った環境にどんな影響を与えるか考えますか？ 容器や包装は過剰じゃないかな、とか、長く使えてゴミにならないだろうか。資源やエネルギーの無駄遣いにならないだろうか...というように。

そんな配慮をしながら買い物やサービスを選びながら生活する消費者が、『グリーンコンシューマー』です。『グリーン』は環境を大切にすること

ことを表現しています。そして、『グリーンコンシューマー』は消費者。消費者一人ひとりが環境を意識しながら買い物をするのを習慣にすれば、目に見える効果としてはゴミが減ります。また、間接的に環境対策の進んだ企業を支援することになるので、メーカーや小売店の方向性を変えるほどの大きな力になっていく可能性もあります。かつては消費者の声をメーカーや小売店が受け入れて商品に反映させること



は難しかったのですが、最近では耳を傾けてもらえるようになってきました。食品メーカーが遺伝子組み換え食品を原料に使わない傾向や、非塩ビラップの生産増加などがその一例です。

グリーンコンシューマーは生活の入口から少しずつ変えていくという提案ですが、同時に社会全体の環境対策に影響を及ぼし、出口も変えてしまう可能性を持っているのです。

グリーンコンシューマーの10原則

99年7月に実施された経済企画庁の物価モニター調査によると、日用品を買うときになるべく環境に配慮した商品を選ぶようにしているという人が56・6%に及ぶという結果が出ています。グリーンコンシューマー化が進んできたことを感じさせる数字です。

では、グリーンコンシューマーって、具体的にどんな生活をする人なのでしょう。それを最もわかりやすく示しているのが、グリーンコンシューマーネットワークによる『グリーンコンシューマーの10原則』でしょう。

1 必要なものを、必要な量だけ買う／あたりまえのことですが、買い物は衝動買いせず、本当に必要かどうか考えてから。量をまとめて買うと割安になるけれど、使わなければゴミになってしまいう。最近、必要な量だけ買える量り売りも増えてきました。

2 できれば容器や包装がないもの、それがなければ再使用できるもの、包装が少ないものを選ぶ／その第一歩は、買い物袋を持参することです。

3 使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ。壊れたら修理する／長く使えない商品＝ゴミになりやすいということを意識して。

4 6は、使うときだけでなく、作るとき、捨てる時、ことも考えて。買い物をするとき、使っているとき、ことは考えても、作るとき、捨てる時には意識が向きにくいものです。

4 資源とエネルギー消費が少ないものを選ぶ。

5 化学物質による環境汚染が少ないものを選ぶ。

6 自然と生物多様性を損わないものを選ぶ。

7 近くで栽培・製造されたものを選ぶ／遠くでできたものは輸送するためのエネルギーが必要になるのでできる

だけ近くで栽培・製造されたものを。農産物の輸入は、傷みを防ぐための農薬を使用することにもつながります（ポストハーベスト）。

8 作る人に公正な分配がされているものを選ぶ／例としてフェアトレードが挙げられます。低賃金などの悪条件で働かされている人たちがいるからこそ安く輸入できる品物を買うことは、無意識のうちに搾取に荷担することになります。こうした状況を正し、弱い立場にある生産者をしいたげない公正な貿易を築こうとする動きがフェアトレードです。商品を売ることだけでなく、商品を使う人に作り手のことや生産地について知ってもらうことが大きな目的となります。

9 リサイクルしてできたもの、リサイクルシステムのあつるものを選ぶ／古紙・びん・缶・古布などの資源物をリサイクルに出すだけでは、ものが循環することにはなりません。リサイクルしてできたものを使ってこそ、始めて循環したということができます。

10 環境問題に熱心に取り組む、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ／こうしたメーカーや店の商品を買うことは、間接的な支援となり、よりよい製品ができる素地を作ります。

新聞紙の原料となる木材、電化製品や車に使われている金属、衣類の原料となっている繊維など、私たちが一日に使っている原料を合計したら約100キロになったそうです（アメリカでの試算）。リサイクルは進んでいるものの同時に原料消費量は増え続けている、1995年に全世界で使われた原料は、前年に比べ100億トンも増えたそうです。これは1963年の2倍以上の量にあたります。先進国は原料使用量を今後50年で90%減らす必要があるというドイツの研究者による報告もあります。グリーンコンシューマー10原則は、消費者の立場から原料消費量を減らす助けともなります。

買物の指針になる データやガイドブック

実際の商品選びには、グ

グリーン購入ネットワークが作成した商品情報やデータが掲載されている「商品選択のための環境データブック」、省エネセンターが毎年発行している「省エネ型電気製品比較カタログ」などが役立ちます。

商品選択のための環境データブックには、商品ごとに購入ガイドラインやデータベースが示されています。冷蔵庫の場合、冷媒物質や断熱材の材質、温暖化やオゾン層への影響の有無、リサイクル設計かどうかなどについてのデータも掲載されています。

省エネ型電気製品比較カタログに掲載されているエネルギー消費効率や年間消費電力・年間電気代などのデータを合わせれば、より具体的な商品選びが可能です。

どちらも冊子になっていますが、インターネット上で見ることもできます。コマシヤルや外観のイメージについて、感わされがちな商品選びを、

グリーン コンシューマー的 商品選びの例 豆腐

次のような表示を基準にする。

大豆については

- ①国産大豆100%使用のもの。現在のところ国産大豆なら遺伝子組み換えの心配はない。
- ②輸入大豆（アメリカ産・カナダ産など）の場合は遺伝子組み換えでないという表示があるもの。
- ③有機栽培・無農薬の大豆なら、さらによい。

凝固剤については

- ①にがり100%（塩化マグネシウム）を使用したもの。
- ②消泡剤（グリセリン脂肪酸エステル・炭酸カルシウム・大豆レシチン）を使用していないもの。

- 消費者が国産大豆を選ぶことで、国内における大豆の作付面積が増え、自給率が上がる効果が期待できる。
- 地元のお店にボールを持って買いに行くことで、新鮮なものが手に入り、包装材削減になる。

資料／グリーンコンシューマー研究会 緑川芳樹さん提供による

具体的なデータに基づいて選ぶ指針となるでしょう。

商品についているマークも一つの選択基準となります。主なものにエコマーク・グ

リールマーク・再生紙使用
マーク・牛乳パック再利用
マークなどがあります。

企業の環境への姿勢を知る
には、『環境報告書』を参考に
します。環境対策を講じてい
る企業は報告書を発行してい
る場合が多く、希望すれば分
けていただくこともできま
す。ただし企業が発信する情
報は、都合のいいことを協調
したりイメージを強めてかか
れている場合も多いので、よ
くふるいにかけながら読む必
要があります。

お店選びには、買い物ガイ
ドが役立ちます。全国レベル
のものには、グリーンコンシ
ューマー全国ネットワークに
よる「グリーンネットワークに
よる「グリーンコンシュー
マーになる買い物ガイド」が
あります。全国の市民団体に
よるスーパー80チェーンや、
生協・コンビニにおける環境
対策度の調査結果が掲載され
ています。また、これまでに
30冊以上の地域版買い物ガイ
ドが発行されています。その
多くは市民が中心になってま
とめたもの。調査を受け入れ
たことをきっかけに、お店が
積極的に環境対策に取り組み
始めた例もあるとのこと。残
念ながら最近横浜市で地域版

が作られたという情報はあり
ませんが、買い物ガイド作り
の過程でかわったスーパー
や小売店が変わって行く可能
性もあるので、あなたも仲間
を集めて買い物ガイド作りに
取り組んでみませんか。

自治体・企業による グリーン購入

グリーンコンシューマーは
消費者による取り組みです
が、環境問題への関心の高ま
りにつれ、自治体や企業もグ
リーン化への取り組みを進め
るようになりました。そのひ
とつが『グリーン購入』です。
グリーン購入とは、商品や
サービスを購入する際に、価
格・機能・利便性・デザイン
などだけでなく、環境への負

荷ができるだけ少ないものを
優先的に購入することを言い
ます。

グリーン購入の推進役とな
るのが、大口の購入者である
自治体です。OECDの調査
によれば、自治体、及び行政
機関の消費は国内総生産の15
%前後になるとのこと。さら
に自治体の呼びかけによって
地域の企業や個人が購入する
場合があることを考え合わせ
ると、自治体関連のグリーン
購入の規模が非常に大きいこ
とがわかります。

グリーン購入ネットワーク
が、会員1898件と非会員
の自治体511件・上場企業
1391件に対して、99年秋
に実施した調査によると、グ
リーン購入を行っている企業
はこの1年で81%から90%に
増加、自治体や企業において
グリーン購入が定着している
ことがはっきり示されました。
グリーン購入の対象分野
は、OA用紙が83%、トイレ
ットペーパー74%、文具・事
務用品69%、コピー機・プリ
ンター43%、パソコン29%、
制服・作業服27%、自動車24
%、包装紙23%と、商品に広
がりが見られます。

OA用紙の古紙使用率は、

ほぼ100%古紙が27%、大
半が古紙28%、また、文具・事
務用品の選択基準として重視
されているのは、再生材の使
用76%、消耗部分の交換・補
充が可能59%、リサイクルが
容易38%となっています。

購入の際に参考にする情報
は、業者のカタログ75%、エ
コマーク72%、グリーン購入
ネットワークの購入ガイドラ
イン32%、グリーン購入に取
り組む動機や目的としては、
環境への責任78%、社員・職
員の環境意識を高めるため48
%、環境に取り組む姿勢を対
外的に示すため32%、コスト
削減のため27%となってい
て、ISO14001（環境
ISO）の取得に必要だと考
えたためという答えも17%あ
りました。

私たちの衣食住はほとんどの
場合、買い物をするところか
ら始まります。買い物は誰も
が日常的にすることだから、
グリーンコンシューマーは誰
もが日常的できる活動という
ことになります。身近のほん
の小さなことから始められる
というのも、グリーンコンシ
ューマー活動のいいところ。
その小さな活動を積み重ねれ

ば、社会が変わるような大き
な運動にもできるというのが
いいなと思います。

あなたもぜひ、今日からグ
リーンコンシューマーに！



エコマーク



グリーンマーク



牛乳パック再利用マーク 再生紙使用マーク

R100

- *1「グリーンコンシューマーになる
買い物ガイド」グリーンコンシ
ューマー全国ネットワーク 小学館
1400円＋税
- 環境・健康を大切にしたい商品選びのた
めの知識と情報を、イラスト・図版を
使って示したガイドブック。全国の
市民団体が調査したスーパー（80チ
ェーン・生協・コンビニ）の環境対策度
も掲載されています。
- *2「子ども地球白書」レスタール・R・
ブラウン 朝北社
- *3「商品選択のための環境データ
ブック」グリーン購入ネットワークの
ホームページ
[http://www.wnn.or.jp/wnn-
eco/gpn/](http://www.wnn.or.jp/wnn-
eco/gpn/)
- *4「省エネ型電気製品比較カタロ
グ」省エネルギーセンターのホーム
ページ <http://ecoj.or.jp>
カタログ希望の方は240円切手同
封のうえ郵便で申し込み。
〒104-0032 中央区八丁堀
3-19-9 ジオ八丁堀ビル
(財)省エネルギーセンター

「不揃いでもいい、虫喰いでいい。本物の味がする野菜が食べたい！」と切望していた折りも折り、縁あって家庭菜園を借り受け、夫が野菜づくりに励み出してから約10年、天候に教えられ、先輩諸氏の忠告に従いながら、週末農夫生活を楽しんでいる今日この頃です。不器量なジャガ芋、ヒョロヒョロの葱でも、おいしい！収穫量よりも安全性にこだわった結果、行き着いたのが健康な土づくり——大地との親密なスキップです。夫は自らの手で収穫する喜び、私は『生ゴミ』のリサイクル。だけど2人の共通の目的は、約50%の野菜の自給自足です。

本音を言えば、最初の頃は生ゴミを素手で扱うのも苦手だった私。視点を变えてみたら、野菜クズも、魚のはらわたも、全部大事な食料の残り、水分も栄養分も豊富な宝物。ゴミもスリム化し、清掃局の手間も省けると良いことがたくさん。とはいえ多少の時間と労力がかかるけど、作業時の自然や天候との対話、収穫どきの「つくる、とる、たべる」ことや、作物を友人と分かち合う楽しさ、心の安らぎとは比べものにならないはず。



おいしい野菜が食べたい! ①
どうやる? 有機野菜の土づくり たわら ふじえ

そんな楽しい農作業の第一歩は、生ゴミを使った土づくり。我が家では、専用の密閉容器と発泡スチロールの箱、そして発酵を促進させるためのボカシを使っています。ボカシとは米ぬか・もみ殻を中心に微生物菌を媒体にして作られたもの。園芸店やスーパーでも入手可能です。

大切なのは生ゴミの下処理。『生ゴミ』は主に、野菜クズ、果物の皮、魚・肉類のはらわたや骨、茶葉、コーヒーのかす、それに残飯。水気を絞り、内臓類は一度火を通すなど下処理を施して、悪臭と

腐敗をシャットアウト。処理した生ゴミはそのたびチラシなどにくるんで冷所保存し、1キロ程度たまったら、ボカシひとつかみを見当にして、密閉容器に入れて混ぜ合わせ、ふたをきっちりします。密閉容器の八分目位までになったら、1週間程度そのままにしておくと、発酵堆肥が出来上がります。容器の底のコックから液肥をこまめに抜き取り、薄めて肥料として施肥します。良質の堆肥を作るには、材料となる生ゴミを細かくする、水切りをキチンとするなどを心がけます。

作業は次に通称『トロ箱』と称される、発泡スチロールの箱を使用する土づくりに入ります。トロ箱は軽く、保温、保湿、防虫効果があるなどの特性を持ち合わせているすぐれものです。

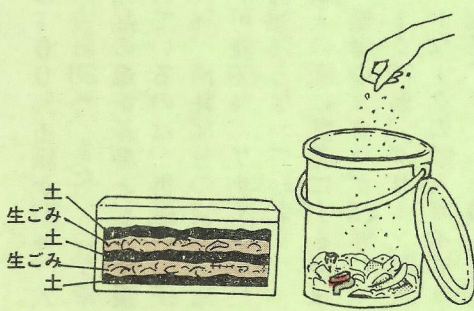
①土と生ゴミを交互に入れる
②生ゴミの量は土より少な目にする
③箱の7〜8分目まで、サンドイッチ状に重ね入れる
④ふたをきっちりして、夏場1週間、冬場3〜4週間を目安に寝かせる

4〜5日すると白い菌糸が発生しますから、よく生えてきた頃に上下をよくかき混ぜ寝かせます。3度位同じ行程

を繰り返すと、生ゴミの形が崩れてモロモロの状態になるので、天気の良い日に薄く広げ、乾燥させます。生ゴミはすっかりサラサラの土になり、匂いもありません。出来上がった土は、畑のウネとウネの間に、畑の土と混ぜます。この方法が面倒な場合、密閉容器で出来た堆肥を、直接畑のウネの間に上から薄く土をかけて、1ヶ月ほどしてから苗の植え付けをします。

数年経つと、いつの間にか土はフカフカでシャベルがサクサク通る良質の土に変身、力の満ちた畑の土となっているはず。こうして、おいしい野菜づくりのための土の出来上がりです。

生ゴミ利用の土で、土も人もリフレッシュ。私にもできる、小さな地球への恩返しです。



▼作り方
①鍋にバターを熱し白ネギを炒める。しんなりしたら他の野菜を加え炒める。
②水とコンソメキューブを加えて20分煮てからミキサーにかける。
③鍋に戻し牛乳を加え、ひと煮立ちさせ、塩・コショウをする。
④器に盛り、砕いたクラッカーを浮き実にする。

▼食材をもっと知る
ほうれんそうはゆでなくても使うことができます。アクが気になる方もいらっしやるでしょうが、少量のアクなら体内毒素を排泄する効果があるので、日頃食べる量程度は大丈夫。キャベツは外葉や芯にも栄養分があります。外葉は内側を外敵や紫外線、温度変化から守るため、繊維が多く強いエネルギーを持っているのです。

旬を楽しむ
エコクッキング
3

田所 仁 美

鶴見区の北方にある駒岡小学校を訪ねた。駒岡町は工場が多い所だが、学校周辺は畑や藪が残り静か。多彩な環境教育を展開している。

2月下旬、『たんけんクラブ』が1年間のまとめの会をするというので、見学をさせてもらった。4年〜6年の女子2名と男子19名と圧倒的に男子児童が多い。担当の松下希一先生は生物が大好き。子どもたちのよき案内役のお兄さんといった雰囲気だ。

駒岡小学校はフィールドに恵まれている。学校から1キロくらいの鶴見川を探索した時、カワウがいた。松下先生と共にたんけんクラブを担当する大胡操先生は、「双眼鏡で初めてカワウを見て感激しました。みんなは？」「シーン」。たんけんクラブ員はカワウをよく見ているので、特に驚きはしなかったようだ。松下先生は、「最近公害で死ぬカワウがいるんだよ」と伝える。

学校の玄関内に水槽が置かれ、鶴見川上流で捕まえたアブラハヤが泳いでいた。校内のいたるところに水槽はあって、なんとサケの稚魚まで。松下先生は「サケの放流は賛否両論ありますが」と言う。日常の食卓に上るサケは、子どもたちになじみのある魚だ

どうする？ どうなる？ 環境教育3

みんなで
「生きもの救出大作戦」



からか、水槽のサケをのぞき込む児童を何人か見かけた。すでに半分のサケは多摩川に放流済み。

「残りの半分は鶴見川に放そうか。多摩川ではサギが下流で待っていたんだよね。追っ払ったけど」と松下先生。食べたり食べられたりする自然の仕組みは、学校の中でも観察できる。学校の南1キロメートルの二ッ池を探索したとき、つかまえてきた小魚やザリガニを水槽に入れておいた。今残るのはザリガニと雷魚だけ。あとは消えた。二ッ池は水田が広がっている



9月、使用後のプールに一日を争って草や木を投げ込むと、トンボが卵を産み付ける。冬を越して、ヤゴやその他小動物がたくさん生きている。

た駒岡の用水池だった。利用されなくなって自然が再生し、バードウォッチャーや愛好家が観察会や掃除をしている。一方、ブラックバス、ブルーギルを放した人がいるらしく増えている。外来の魚は強く在来種のモロコを食べてしまい、生態系が変化していく。

だが松下先生は「ヤゴを食べるでしよう小魚を雷魚は食べるので、トンボ池には都合がいいと考える人もいるんですよ」と話す。良くも悪くも今の自然状況を見ていくのだ。学校から歩いて2、3分のところに、まむし坂という人氣スポットがあった。ところが宅地開発で壊され、なくなると知り、みんなで『生きもの救出大作戦』をたてた。夏休み、工事開始直前に、まず6年生全員が、続いて全校の中から希望した子どもたちと、PTAや後援会の人たち、校

長の小峠榮司先生や他の先生たちも参加した。子どもたちはザリガニや沢ガニを捕まえて家で飼ひ、大人たちは草木を掘り起こして校庭の角に植えた。山と平地の環境の違いで、枯れてしまった植物もあったが、マンリヨウやキシヨウは根付いている。こうして、まむし坂は『心の地図』に残った。

つり好きの6年生、佐藤良平さんは「生きものつかまえクラブになっていない？」どこを探検したかなあ。二ッ池はいいけど」とつぶやいた。松下先生は「二ッ池にゴムボートを浮かべて探検したいな」と提案する。卒業しても佐藤さんは二ッ池を自分のフィールドにしていきたいことだろう。

(ササキミチコ)



駒岡小学校の環境教育 ——駒岡小学校の教育研究資料より

地域の人たちとの結びつきが強く、各学年で輪作している農場やミニ水田^{※2}、伝承遊びなど、様々な支援を得られている。厳しい環境問題の状況を子どもたちに適切に伝え、身近にあるすてきな自然に十分ふれあい、なくなっている自然を持つとともに、大変な時代を生きていくエネルギーにしていきたい。



やってみようトンボ池
作成：トンボ池作成ワーキンググループ
発行：横浜市環境保全局 価格：500円
入手希望の方は横浜市役所1階市民情報室へ

生きものにぎわうトンボ池の作り方を説明した本。本格的なトンボ池作りのマニュアル。工事から手入れまで、ていねいに解説している。教員と市職員が協力して作った。松下先生は作成グループ8人のメンバーの1人。トンボは移動距離が1キロ程度なので、その間隔でたくさんのトンボ池ができれば、横浜中にトンボが飛び交うようになるのだそう。

環境教育の
サポーター

●古布・古着のリサイクル 自動車メーカーでは、廃車から可能なものはリサイクルする方向で進んでいる。これまで車のシートやマットは回収業者が集めた衣類を綿状に加工（反毛）して原材料としてきたが、最近では廃車から取り出したシートやマットをメーカーが再加工作して新車に使い始めたため、反毛の需要——ひいては古布の需要が落ち込む結果を生み出した。また、格安スーツ販売店やスーパーでは、古いスーツや衣類の下取りを始めた。集めた衣類は反毛業者に処理費を払って持ち込む。その結果、これまで反毛に回していた回収業者は持ちこみ先がなく、処理費を払って焼却する例も出てくる。広く考えればこれらのメーカーや店は製造者責任を果たしていると言えるが、社会的コストはかなり高くなっているはず。ウェストリサーチ2000・1

●カレットの置かれた状況 容器包装リサイクル法では、市町村が回収したガラスびんを最も安い価格をつけた業者が入手する形になっているが、そこに参入しているのはガラス原料のカレットとして引き取る業者だけではない。道路の舗装など他用途に使う業者も含まれ、その数は増加しつつある。入札価格だけを取り出した場合、カレット業者に比べ他用途業者の方が低い。カレット業者は高精度の異物除去を行う必要があるから、他用途に比べコストがかかる。地方には製びんメーカーがないから、カレットにしても長距離を運ばなくてはならず、これもコストアップ要因となる。その結果、地方では多くのびんがカレット以外の業者の手に渡ることが多くなっている。ウェストリサーチ2000・1

●段ボール古紙が品不足 関東製紙原料直納商工組合主要32社の古紙実績によると、段ボールの在庫が前月末より16・6%減で在庫率13%、新聞と雑誌を合わせた3種合計の在庫率も13%となり、適正在庫率を下回り、品不足が顕著となっている。段ボールの不足は夏以降、月を追って深刻となっている。日刊紙業通信2000・1・12

●新聞用紙需要増 日本製紙連合会新聞用紙委員会による99年11月度の新聞用紙需給実績は、在京4紙（朝日・毎日・読売・日経）の広告段数が前年同月比6・7%増、在京5紙（朝日・毎日・読売・日経・産経）のページ数が、朝刊で前年同月比4・2%増、夕刊で3・2%増と堅調な伸びを見せたのを受けて、新聞用紙内需（超軽量紙換算）は2・9%増と、96年6月度の2・5%増以来の大幅増となった。日刊紙業通信2000・1・12

●再生衛生用紙、年初の荷動き良好 再生衛生用紙メーカーの年初の荷動きは、12月の年末商戦が20日以降に集中し輸送量にも限界があったことなどから、初荷から順調な出荷状況を見せている。日刊紙業通信2000・1・14

●古紙回収量年末も増えず 古紙市場は昨年歳末の発生増量期にしては、例年のような回収増量があり見られず、新聞・雑誌・段ボールの主要3品目ともに一段と需給タイト感を強めている。古紙問屋では年末ギリギリまでヤードでの荷受けを行ったが回収量は少なく、年明けも回収・集荷は閑散としている。日刊資源新報2000・1・14

●環境装置受注が増加 日本産業機械工業会がまとめた環境装置受注状況によると、99年11月の受注総額は約689・9億円と、前月比20%増、前年同月比2・6%増となった。装置受注状況は以下の通り。大気汚染防止装置71億円、水質汚濁防止・し尿処理・汚泥処理等の装置480億円、ごみ処理装置137億円、騒音振動防止装置5900万円。日刊産業新聞2000・1・17

●鉄スクラップ値下げに転じる 昨年末に値上がりした鉄スクラップ相場が、1月中旬から値下げに転じ、今後さらに2月にかけて値下がりが見込まれる。例年、年末年始に鉄スクラップが値上りする傾向にある。年末年始は電力料金が割安になるため、電炉メーカーが休日短縮して操業するが、原料の納入業者は休み。そこで電炉メーカーは年末に原料を手当てしておく。昨年の同時期には高炉が減産体制を継続したため、鉄スクラップの市況暴落に歯止めがかからなかった。しかし今年は昨年のような状況にはならないと予測する人が多い。鉄スクラップの値下げにも限界があるからだ。日刊産業新聞2000・1・18

●古紙通関3ヶ月連続の輸出超過 99年11月の古紙輸出入通関実績は、輸出1万5千トン、輸入2万7千トンで、9月以降3ヶ月連続で輸入超過となった。日刊紙業通信2000・1・21

●家庭系パソコンメーカーが回収プラン 社団法人日本電子工業振興協会は1月13日、パソコンのリサイクルについて自主行動計画を発表した。同協会は会員17社のほか、外資系5社も参加している。計画では今年3月までに各社それぞれが家庭から排出されるパソコンの回収・リサイクル計画を策定・公表する。リユース・リデュース・リサイクルを基本に、製造段階から廃製品の回収、再資源化までをカバーする。また、家庭系廃パソコンの広域回収を可能にするため、廃棄物処理法など法制度の改正が必要との考え方を示した。家電法になじまない理由としては、①パソコンは他の家電製品と異なり、下取り慣行がない ②手持ちの旧機から新機へデータ移送する場合が多く、新機購入と旧機排出に時間的ずれがある、などがあげられる。週刊廃棄物新聞2000・1・24

●各自治体の分別収集増加 厚生省では各都道府県を通じて、99年4～9月に容器包装リサイクル法に基づいて分別収集量・再商品化量等を調査・集計した。前年同期と比較して、分別収集を行う市町村数・分別量は増加している。中でもペットボトルの増加は著しく、指定法人が最大限に引き取っても2000年持ち越し分が出る模様。日刊資源新報2000・1・24

●廃車リサイクルの現状と問題点 日本鉄源協会は推計で507万台（98年）となっている廃車のリサイクルの現状と問題点をまとめた。①部品の再利用などで解体業者の重要度が増しているが、後継者や労働力の不足・環境規制で非常に厳しい状況にある ②中古部品市場の整備は遅れているが市場拡大の環境が整いつつある ③処理費用の高騰、設備過剰による採算難 日刊産業新聞2000・1・25

●古紙利用率横ばい 古紙再生促進センターでは99年11月の古紙回収率・利用率についてまとめた。古紙回収率は55・8%で前月比0・6%低下、利用率57・0%で前月比横ばいとなっている。日刊資源新報2000・1・26

『よこはま白書』は横浜市環境事業局や各区のリサイクルに関する情報をお知らせするページです

給食から出る生ごみを 生かして：小学校のコンポスト

小学校の給食から出る生ごみは、調理の際に出る食材のくずなどを合わせる

と、毎日かなりの量になります。横浜市ではこの生ごみの量を減らし有効利用できたらと、小学校にコンポストを導入しています。93年にモデル事業として小学校1校、福祉施設1か所に設置、97年度からは毎年小学校3、8校に導入して、現在全区で合計19校に設置を終えました。

コンポストを設置したことによって、これまでごみ

になっていたものが堆肥として有効活用できるようになりました。横浜市の推計では、19校で年間50トンの減量となっています。また子どもたちが、コンポスト

からできた堆肥を授業として行う野菜作りに活用したり、学校の花壇に使われるのを目にすることによって、ごく自然に環境教育につなげることができたとの声も寄せられています。

生ごみ堆肥化に熱心に取り組んでいるボランティア団体有機農産物普及・堆肥化推進協会によると、生ご

み堆肥化の際、原料に学校給食を使うことには、次のような利点があります。

①異物が入らない
②栄養的に計算されている
③内容が比較的均一化されている

レストランや一般家庭でこうした条件を整えるのは確かに難しいでしょう。学校給食の生ごみだからこそ、質の良い堆肥を作ることも可能と言えます。

二次発酵まで行うコンポストであれば、できたものをそのまま堆肥として使えますが、一次発酵だけ行うコンポストの場合は地面を30センチ程度掘って埋め込み、土を15センチ程度かぶせて1ヶ月以上土の中で養生させる二次発酵の作業が必要となります。それでも、こうした作業に子ども

たちを巻き込んでいけば、それもまた実践的な環境教育になることは間違いありません。できあがった堆肥は有機質なので即効性はあ

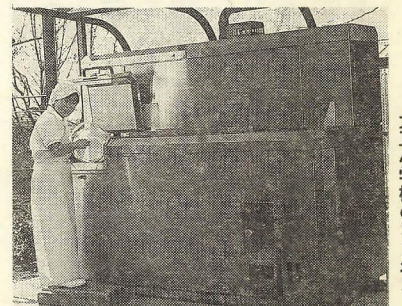
りませんが、土を植物にとって居心地のいい環境に整え、ゆっくりじっくり効果を発揮していきます。

コンポスト導入の半年後にご紹介した大正小学校にうかがい、2年後の状況を見せいただきました。

大正小学校の給食から出る給食の生ごみは1日約30キロ、1か月で600キロ余りになります。コンポストから取り出すのはだいたい月に1回、斎藤実先生を中心に行っています。コンポストから出した一次

発酵堆肥は斎藤先生が作った養生枠の中に入れ、市販の乾燥牛糞や腐葉土を混ぜて1か月以上二次発酵させて使います。養生枠があるのは、畑や花壇、ビオトープの池がある一角。畑は冬

野菜の収穫をすべて終え、実がなるのを待ついちごが残るばかりでしたが、朝や



大正小学校のコンポスト

「給食の生ごみで
おいしい野菜ができたよ」
横浜市戸塚区・大正小学校

放課後に自主的に集まってくるようになった子どもたちが、にぎやかに作業を手伝っていました。子どもたちは手慣れた様子で堆肥をかき混ぜて切り返したり、小さなからだで重いプランターを運んだり、楽しそうに動き回っています。

できあがった堆肥を土の中に入れる時には、校庭で集めた落ち葉を下に敷きま

す。牛糞や落ち葉を混ぜることによって発酵が進み、肥料効果も上がるのだそうです。この秋から冬にかけては、小松菜・かぶ・だいこん・チンゲンサイ・キャベツ・さつまいも・じゃがいも・聖護院だいこん・サトウキビなどを収穫、手伝ってくれた子どもに分けて家に持ちかえらせました。

「この前聖護院だいいこんを持って帰っておしんこにしたら、うちのみんなおいしいうって食べてたよ」

「うちは味噌汁に入れたの」と、口々に報告する子どもたち。自分たちの手で育てた野菜は、子どもたちにも家族にも特別な味だったことでしょう。

斎藤先生にうか

がいました。

「これまで1年間に6トンの生ごみと30㎡の落ち葉や雑草を、ごみとして捨てていたけれど、今は捨てずに生かして肥料にできる。これはコンポストがなければできません。」

予想外の収穫は人的活動が活発になったこと。声をかけなくても、たくさんの子どもの手が畑や花壇の仕事を手伝いにくるようになりました。自分で翌日の仕事を考えて働く子どもが現れるまでになっています。放課後には先生方もやってきて、子どもたちと畑仕事をしている。そんな光景を見ると活気がでてきたなあと感じます。コンポストの効用は大きいですね」

養生枠の一次発酵を終えた堆肥をかき混ぜる子どもたちと斎藤先生



ここが知りたい。環境事業局への質問●1 横浜のごみのこと、環境のこと。



リサイクルデザインには、横浜のごみや環境についての質問が寄せられます。気になりながらそのままになっていた質問に、環境事業局にお願いして応えていただきました。今回は、分別や回収について。

Q1 びんのラベルがはがしきれないものがある。ラベルが残ってもびんごみ収集にだしてよいのでしょうか？ 粘着部分が取れないラベルもあります。余り取れないと面倒くさくなってしまいます。

A びんのラベルは、はがさなくて結構です。「ふたを取る」「中を洗う」ということをきちんとしてから出すようお願いします。

Q2 缶・びんの場合、洗えるものはいいのですが、油の付いたものはそのまま出していますか？ よいのでしょうか。

A 「軽くすすぐ」「チラシ・古布などで1回ぬぐう」だけでも、油の付着が少なく

なるので、缶だけがをしないう程度にご協力ください。

Q3 スプレー缶・蛍光灯・電球などはどのようにして出せばよいのか。食品が入っていたのではない缶・びんなどは普通のごみと一緒にしてよいのか。

A スプレー缶は、火の気のないところで中身を出し切ってから、家庭ごみ(週3回収集)に出してください。また、蛍光灯や電球・ガラス・陶器・串などは、収集作業上危険ですので、厚紙などで包み、品物名を表示して、家庭ごみに出してください。なお、食べ物・飲み物以外のものが入っていた缶とびんは、資源化の妨げとなるため、家庭ごみに出してください。

Q4 缶・びんのリサイクルをもっと細かく分別してはどうか？ 今はいっしょにビニールに入れて出しているが、ペットボトル・アルミ缶・スチール缶・びん程度に分けてコンテナに入れているかどうかいつも思う。

A 品目別に分けて出す方法は、「広い集積場所が必要で、すべての集積場で対応できない」「収集する車輛も多く必要」「そのようにしても収集後に異物の除去や完全に仕分けする作業は必要」などの理由から、「他のごみとは確実に分別してもらい、施設で完全に選別する」という方法をとっています。

Q5 現在の分別収集では缶とびんを一緒に入れています。その理由は缶がクッションになってびんが割れるのを防いでいるのとありますが、どう考えても別の方がいいのではないかと思います。

A 缶・びんを一緒に集めている理由は、Q4の回答の通りです。分別収集された缶・びんは市内3カ所の資源選別センターに集められ、びんはカレットと呼ばれるガラス片として手作業で色別に分けたあと、別の工場で再びガラスびんになります。

なお、ビールびんなどのリターナブルびんは、できるだけ購入店にお返しくださるようお願いいたします。

Q6 行政に求めること。
①殺虫剤・園芸農薬容器の別回収 ②生ごみの別回収

A ①殺虫剤など薬品や化粧品などのびんなどは、飲食用のびんとは質が異なりいっしょに溶解してリサイクルすることが出来ません。また、主にプラスチック製の園芸用容器などはリサイクルルートができていませんので出してください。

A ②ごみ量の約3割近くが生ごみですが、この生ごみを再資源化するには、異物が混入しないよう「分別の徹底」が不可欠です。特に家庭の生ごみは分別の徹底が難しいことから、分別収集は行っておりません。

横浜市では、各家庭での生ごみの堆肥化を推進するため、家庭用生ごみコンポスト容器を購入する際に3000円を助成する制度がありますのでご利用ください。

▼申込先
横浜市環境事業局減量推進課
045・671・2553

●南区桜まつり フリーマーケット・古着市とリサイクルマーケット・リサイクル手作り教室
4月2日(日) 10時～15時 小雨決行・雨天中止 問い合わせ 南区役所 045・743・8195

●泉区センターリサイクル/4月2日(日) 9時～12時 一般家庭の資源物を環境事業局泉事務所で回収。車持ち込みOK。
回収品目：新聞紙・段ボール・雑誌・紙バック・古着・古布・毛布・カーテン・着物・酒びん・ビールびん・ワイスキーびん・アルミ缶・スチール缶・金属くず(鍋・フライパンなど)・ペットボトル・トレイ・発泡スチロール

●春のリサイクル着物フェア/4月11日(火) かながわ県民サポートセンター展示室10時～17時 問い合わせ アリスセンター 045・215・5835

●ファイバーリサイクル ファイバーリサイクルネットワークによる古着・古布の回収/磯子区3月28日(火)・都筑区3月28日(火)・港南区3月30日(日)・栄区4月6日(木)・西区4月11日(土) 場所・時間はファイバーリサイクルネットワーク(アリスセンター内)に問い合わせ 045・215・5835

リサイクル 掲示板

どうなってるの? リサイクル 7

お話を
うかがった
方

中部リサイクル運動市民の会
江本 淳彦さん

*他に中部リサイクルが直接運営にかかわっていないもののリサイクルステーションとして市に登録している会場が2か所あります

藤前干潟に作る計画だったゴミ処分場を、環境保護の観点から中止した名古屋市が、このままではゴミ処理が間に合わなくなる、ゴミ非常事態宣言を出したのが昨年2月18日のこと。市民の危機感が数字となって現れたのが、中部リサイクル運動市民の会が91年から行っている資源回収「リサイクルステーション」です。非常事態宣言以降、回収量が急激に増加、98年4〜12月には1回あたりの平均回収量が2・1トンでしたが、99年4〜12月には6・9トンに、また、前年比で総回収量の伸び率は75・1%、持ち込み件数の伸び率は89・7%、回収拠点も10か所以上増えました。名古屋市はリサイクルステーションをゴミ減量施策のひとつと位置づけるまでになっています。

昨年初め、江本淳彦さんはそれまでのフリーマーケットの企画からリサイクルステーションに担当替えになり引き継ぎをしているさなかに、非常事態宣言が出されました。

「最初は反応が鈍くて非常事態宣言でも市民は動かないのかなあと思ったほどでしたが、回収量は徐々に増え、新聞社が協力して無償でチラシを入れてくださるようになった4月には、それまで1日で集めていた量が30分で集まってしまうほどになり

ました。最初はみんな張り切っていたのですが、次第に集まり過ぎて裁き切れず、暑さに向かっていたこともあって、現場に入っているボランティアスタッフが疲れ切ってしまうという状況でした。準備期間なしでいきなり忙しくなってしまうので、つらい思いをさせてしまっています」

リサイクルステーションが始まった91年当時、名古屋市の資源ゴミの多くは埋め立てられていました。そうした資源ゴミをリサイクルしようとして、中部リサイクル運動市民の会が回収業者や企業・行政に声をかけ、協力を得て始めた資源回収がリサイクルステーションです。書店などの駐車場の一部を、月2回程度提供していただく形でスタート、その後スーパーの駐車場を中心に増え、現在32会場となっています。回収品目が新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック・古着・缶・ビン・トレイと多いこと、スーパーや書店の駐車場で

行っているのを買った物ついでに持ち込めること、色や柄のあるトレイも回収していることなどが持ち込む側にとっては魅力になっているようです。

「中部リサイクルが全体の調整や運営管理を行い、賛同してくださる企業・行政・市民・マスコミがそれぞれの役割を担って一緒に進めていく体制をとって

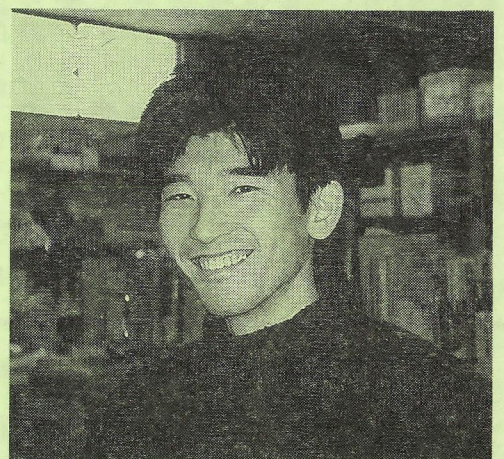
います。役割とは、企業が運営資金の援助や企業ボランティアの派遣、行政は助成金とPR、市民は市民リサイクラーと呼ばれる回収ボランティア、マスコミはPR活動という具合です」

リサイクルステーションの現場では、市民リサイクラーが楽しそうに働いていました。継続的にかかわっている人が多いためか、手慣れた仕事ぶり。リサイクルのために役立つ仕事をしているという気持ちと、ボランティアといっても1回3000円の報酬金制度が、張り合いになっているのでしょうか。

「市民リサイクラーは、1回平均4・5人が手伝ってくださいています。開催日が平日に偏っているのが、主婦や退職した男性が主体になっています。持ち込みは車で買物にきたついでに、という方が多いのですが、おばあちゃんがショッピングカート

をガラガラ引いて、一日何往復もしてくださったりという場面に出会うこともあって、ありがたいなあと思います」

課題は、現状のままで回収量が増えるにつれ赤字になってしまうこと。リサイクルステーションの処理コストは、名古屋市の国の算定基準に基づいた処理コストと比較すると、かなり低くなっています(表1)。それでも、1会場1回開催あたりト



「えももあつひこ 仙人になりたいと思いつつ中部リサイクルのスタッフになり、フリーマーケットに集まって来る変なおばさんたちから人間の(怖い!)本質を学んだ。「現場で人と接しているのが好き」だから、フリーマーケットやリサイクルステーションの仕事を銭勘定抜きで楽しんでいる。やわらかな物腰、何事にも誠実で一生懸命な姿勢が周囲の人を動かしてしまうようだ。瀬戸市在住。P12ばん太のボンにRステーションの写真を掲載しました

表1	トンあたりの収集運搬・処理費用	対象物
名古屋市	1トンあたり 103,667円	収集運搬費用(99年) ビン缶
	1トンあたり 50,589円	収集運搬から埋め立てまで 一般ゴミ
国の算定基準 地方交付税 単位費用	1トンあたり 53,869円	分別収集・リサイクルコスト 容リ法対象物
リサイクルステーション	1トンあたり 11,064円	収集運搬費+処理費 ビン・缶・古紙・布・トレイ

回収対象物が違うので単純比較はできないが、回収アイテムが多くコストもふえるはずのリサイクルステーションの回収コストが低いことがこの数値からうかがえる

ラックなどにかかる回収経費、市民リサイクラーに支払う1回3000円の報酬金、事務局経費などを合わせて、8〜9万円の支出があります。これに対し収入は、名古屋市の助成金が5万円、残りの3〜4万円は民間スポンサーや環境事業団の地球環境基金などの支援に支えられています。しかし回収量が大幅に増えると、トラックを増やさなければ対応できません。それにはさらに経費がかかりますから、回収量が増えるのと同時に経費もかかるというジレンマに陥ってしまいます。こうした事情から、ここ数年ほとんど赤字を出さずにやってきたものの、99年度は赤字になってしまったとのこと。

「2000年は何とか採算がと

そのためには、リサイクルステーションだけでなく、今ごみになっているものを、可能な限りすくいあげていきたい。いろいろな形の回収があっているといいと思っています。

民間古紙循環システムが危うい

中村正子

〈古紙問題市民行動ネットワーク代表〉

97年春に古紙問屋の在庫率が通常の3〜4倍になり、中でも雑誌は逆有償で、回収業者は古紙問屋にお金をつけないと引き取ってもらえなくなっていた。その後も古紙価格は暴落を続け、商売にならなくなった回収業者をはじめ、民間古紙循環システムが危うい状況が続いている。97年春以来、古紙問屋は在庫を減らそうと赤字輸出をし、製紙メーカーは再生紙生産に必要な脱墨設備を増設したため、新聞古紙の需要が増え在庫は減っていた。しかし古紙価格はその後とも下がり、98年末まで史上最低価格が続いた。

市場原理から言えば、需要が増えたのに供給が少ないのだから、古紙価格は当然上がるはずであるが、需要が大きい新聞でさえキロ3〜4円と

いう底値が続いた。回収コストが8〜10円かかるというのに、である。99年8月の段階では、需要が高まっている新聞古紙と逆有償のため集荷量が少ない雑誌は、在庫が大幅に減っている。新聞はキロ4〜6円と少し上がったが、段ボールは1〜3円で、雑誌の逆有償は変わらない。

古紙価格が上がらないのは、製紙メーカーの古紙購入価格が上がらないためだ。古紙問屋が回収業者から買い入れる価格はここところ少し上がってきたが、製紙メーカーの購入価格は安値のままだから、問屋も大変である。コストを大きく割り込んでまで古紙を回収する業者はいない。今、残っている回収業者は、古紙以外に産業廃棄物や一般廃棄物も扱っているか、自治体の委託業者か、集団回収業者として自治体から補助金が出ている業者などに限られていて、回収業者が回収する古紙は減っている。

不況下でも製紙業界はほぼ一貫して右肩上がりに増産してきた。97年の生産量は最大量の3101万トン、一人当たり約250キログラムを使っている勘定になる。当然、可燃ゴミ中の紙ゴミも増えており、東京都の場合、97年度

にはその割合が50%に及んでいる。そんな状況の中で、ゴミに含まれている大量の紙ゴミを回収して資源化しようとして、ゴミステーションを使う自治体の古紙回収が増えていく。なかには長野県茅野市のように職員が直営で古紙を回収して圧縮し、製紙メーカーに持ち込む自治体まで現れた。東京都もステーション回収に移行中で、すでに実施している地域では集団回収が消えつつあると聞く。仕事がなくれば当然、回収業者は存続できない。

製紙メーカーにとっては古紙が納入されさえすれば、回収業者↓古紙問屋経由でも、自治体から直接でも構わないということなのだろう。税金でコストをまかなう自治体から買い入れる方が、古紙価格を安く設定できていいのかもしれない。そうでなければ、古紙原料の需要が増えても古紙価格を絶対に上げようとして、回収業者が無視した対応を、製紙メーカーはとれないのではないだろうか。しかし自治体の直営回収には民間回

収の3〜4倍のコストがかかっているのだ。

かつて古紙から紙への循環は、民間の回収業者と古紙問屋が担っていた。リヤカーのくずやさんから、ちり紙交換、集団回収と形を変えても、消費者と業者の自立した商いとして市場原理で動いていた。しかし、ゴミ量が増大し紙ゴミが増えるにつれ、自治体が回収する古紙が増え、民間古紙循環システムに流入するようになった。つまり、税金が介入するようになったのである。

だが、税金収入が激減している自治体が、民間の3〜4倍ものコストをかけながら行う回収を、いつまで続けることができるのだろうか。資源化は大事だが、社会的な負担は合理的に最小にすべきである。行政はすでに機能している民間システムにはできるだけ介入せず、使って生かしたほうがいい。製紙メーカーの生産者責任もまた、問われるのではないだろうか。

（月刊消費者99年11月号掲載の文章に一部加筆）

▼古紙問題市民行動ネットワーク▲持続可能な古紙循環システムを目指して、93年春に結成された全国組織。紙ひもや再生紙、再生紙トレイ、バーのキャンペーンを通じて、再生紙製品の需要拡大活動を行う一方、持続可能な古紙循環のための検討チームを作り、静脈部分のコスト負担や経済誘導をどうするかといった仕組み作り、及び問題提起に取り組んでいる。連絡先 03・3424・4629 中村方

●コピー用紙（新聞古紙100%の再生紙）

サイズ	入数	規格	2000年2月現在			
			1〜2ケース	3〜9ケース	10〜19ケース	20ケース以上
A4	2500枚	白（白色度70%）	2,080円	1,730円	1,630円	1,560円
		ピンク・イエロー・グリーン	3,660円	3,120円	3,000円	2,950円
B4	2500枚	白（白色度70%）	3,180円	2,590円	2,440円	2,340円
		ピンク・イエロー・グリーン サーモン・パープル・ブルー	5,000円	4,680円	4,500円	4,450円
B5	5000枚	白（白色度70%）	3,180円	2,590円	2,440円	2,340円
A3	1500枚	白（白色度70%）	2,570円	2,070円	1,890円	1,840円

●コンピュータ用紙 1〜9ケース 10ケース以上

2000枚	白（白色度60%）	2,900円	2,660円
-------	-----------	--------	--------

ご注文は

その他の再生紙については下記までお問い合わせください
 横浜市資源リサイクル事業協同組合
 TEL 045・316・4050 FAX 045・316・6050

農業や化学肥料は生態系を破壊するので極力控えた方がよいことはご存じでしょうが、市販されている園芸用液体肥料のほとんどが液体『化学』肥料です。近ごろは園芸店でも天然肥料の木酢を扱うようになりましたが、木炭を作る過程で出来る木酢に加えて、最近は竹炭作りから出来る竹酢（『ちくさく』もしくは『たけす』と読む）も通信販売などで入手できるようになりました。木酢や竹酢は希釈濃度を変えるだけで土壌消毒、殺菌、虫除けが出来るうえ、優れた液体肥料としても定番があります。木酢・竹酢を使いこなして、空気と土、そして水を守りましょう。

▼保存は色つきビンで

木酢や竹酢は運搬中の破損防止などの事情からプラスチック容器に入ってくる場合があります。しかし木酢も竹酢もその名のとおり成分は酢。酢はプラスチックの添加物（化学物質）を溶出させるので、原液をプラスチック容器で保存することは品質劣化の原因になります。購入後は速やかに緑や茶色（無色は変化しやすい）の空きビンに入れ、しっかりと封をして日陰で保存すれば、屋外でも品質が

落ちることはありません。

▼ビンカバーで破損防止
でも、ビンが割れたら大変？ それなら『ビンカバー』をすれば大丈夫。不用

タイツや厚手のストッキングがあればすぐにできます。まず、タイツなどの両端をビンの長さほどに切つて筒型に

地球を守る家事と工作

48

木酢・竹酢を生かす 保存法と使い方

島 秀子

エコサイクル家事研究家



し、二本の筒を重ねて一つにします。この筒でビンをすっぽりと包み、最後にビン上部を『伸び輪ひも』で固定すればおしまい。倒れても割れませんよ！

▼濃度の目安

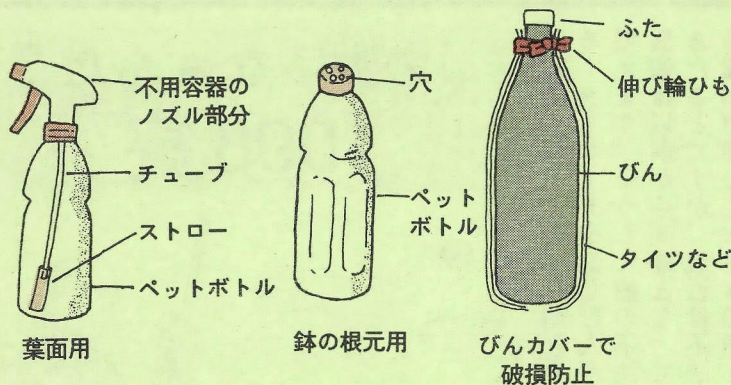
原液20倍／害虫防除・ゴキブリ対策（台所の入口にスプ

レーするなど）
50倍／土壌消毒・殺菌
500倍／発芽後
300倍／成長後

▼散布用容器いろいろ

バケツ内に目盛りをつけておくとうりです。鉢の根元にはペットボトルのふたに穴を開けたものが便利。葉面スプレー用には、使用済みスプレー容器のノズル部分をペットボトルにセットすると、きれいで使いやすいスプレー容器になります。その際、チューブの長さが足りなければ、チューブの太さに合うストローを切つて足せばチューブの長さを調節できます。

「液体化学肥料はすぐに効くけど、効き目が長持ちしない。でも木酢や竹酢に替えてからは根がしっかりと花にも勢いが出てきた」と花好きの友人達は言います。木炭にする木はわずか7～8年で成長するので、木炭や木酢を生かすことは持続可能な産業を育てることに繋がります。竹はさらに早く2～3年で成長、荒れた竹やぶは適度な伐採によってよみがえるとのことですから、化学物質を減らす暮らしに竹炭、竹酢を利用しない手はありません。



*1 婦人ストッキングの脚部を輪切りに切つて伸ばしたもの
*2 外国で乱伐された輸入商品が一部にある由、産地を確認して購入したい
竹酢の主な購入先（2000年2月現在。特徴が違うので単純に価格だけで比較できない）
・古橋竹材店（静岡）EM入・省包装 0120・035090
1ℓ ¥4270 10ℓ ¥15600
・竹炭サークル（埼玉）九州合馬産 0120・831380
900ml ¥1900
木酢液の購入先
・（有）オールインオール（千葉） 043・232・1522
500ml ¥1300
東急ハンズ始め、大地を守る会・生活クラブなどでも取り扱っている

再生紙を使ってみませんか！

資源回収から生まれた再生紙トイレットペーパーです。

…… さわったお尻は忘れない

●リサイクルボーイ トイレットペーパー

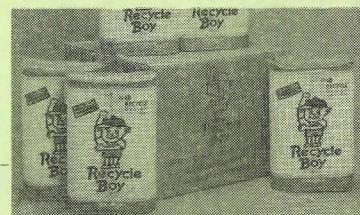
シングル（芯なし） 1パック6ロール（1ケース8パック48個入り） 130m

10ケース以下価格 11ケース以上価格

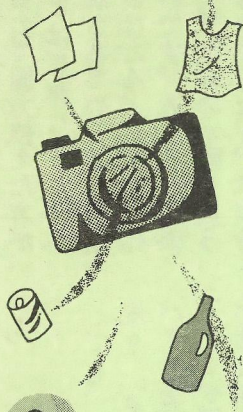
1ケース 3,360円 1ケース 3,000円

*上記価格は、1回のご注文につき1ケースあたり（各種・各サイズ込み）の価格です。消費税が別途かかります。

*配送は、受注後2～3日以内（土・日は除く）。送料は無料です。



ぽん太のポン



9

冬のリサイクル ステーション



ここは名古屋。あるスーパーマーケット大型店の裏手にあるリサイクルステーションの回収現場。ここでは月に2回、資源物の回収が行われています。

寒風吹きすさぶ中でも、たくさんの方が資源物を持ち寄って来ています。コートも着ず、震える手でシャッターを切る私を見かねてか、スタッフのやさしいお姉さまが「兄ちゃんこれ着てな」と、集まった古着の山から見つけ出した革ジャンを差し出してくれました。そのあたたかかったこと。

この寒空の下で資源物を持ってくる人のために半日立っているのは、大変な苦労だと思われるけど、そんなことを感じさせない明るさが、とてもうれしく感じられました。リサイクルはこうして支えてくれる多くの人の手によって成り立っているんだなあと改めて実感する機会になりました。

リサイクルデザイン編集人ぽん太が、趣味の写真を撮りながら、現場で撮ったリサイクルの今、一か月おきに登場します。

この数字ななんだ？ 1098 隻



暖かくなると海で船釣りやモーターボートを楽しむ人が増えます。そうした船の不法繋留は以前から問題となってきたことですが、最近では不法投棄が急増して大きな問題となっています。

木造船は焼却が比較的容易で放置されても時間の経過とともに腐っていくため、多少問題はあっても何とか対処されてきましたが、廃棄に手間のかかる繊維強化プラスチック(FRP)製ボートの不法投棄が、ここ10年で5倍に増加しています。99年に海上保安庁が確認した投棄廃船1818隻の60%に当たる1098隻がFRP船でした。FRP船は木造船に比べ、強くて軽く扱いやすいた

め、プレジャーボートには最適です。ところが廃棄するとなると一般廃棄物扱いとなり、1隻当たり50〜100万円の処理費用がかかるため、不法投棄が増えているようです。98年に見つかり、処理されないまま翌年に繰り越しになっている船が368隻あるなど、できるだけ早く対処していかないと、この数が増える一方であることは明らかです。

最近、自治体などがFRP廃船の処理対策を検討する動きも現れましたが、楽しむからには自分で後始末もしなければいけないのは当然のこと。処理費用が高いからと不法投棄する人には、船で遊ぶ資格がないことを自覚していただきたいものです。

おたより

●地域で集団回収をしています。集めて来てくださる業者さんがいるので、大変感謝しています。隣の地区では、業者が休業したので集団回収を止めたと言き残念です。後から聞いたので手が打てませんでした。止める前にこちらの団体に問い合わせればと思いましたが、行政、環境事務局でも教えてくれたらと思いました。

横浜市港北区／岩本千歳さん

●ドイツの環境教育は徹底しているようです。国全体が一丸となつて取り組んでいる姿勢に違いを痛感させられます。家や地域（学校）でできる取り組みの推進を行政にも強く求めて行きたいものです。個の思いがあっても、受け皿となるものが身近にないのでは長続きしません。企業も本腰を入れて取り組む時期なのに、新製品の開発にばかり力を入れているような気がしてなりません。

これから学校では何ができるか、どんな視点で子どもたちを育てていくのか、父母も巻き込みながら考えて行きたいと思えます。

匿名希望

●いつも「これ、無駄だなあ」と思うのは自家用車です。通勤に使う訳でもないし、都会では必要ないですね。若者の暴走車も本当にエネルギー（資源と本人の時

間）の無駄です。

これからは学校や家庭でエコ教育を積極的に行い、若者にもどんな考えをもらいたいのです。「新しいものをどんどん買う」スタイルが決してカッコイイことではないと認識して欲しい。また市の行政面でも節約・リサイクルしてください。

横浜市港南区／田中里美さん

●先月のおたよりコーナーで車の缶立てサイズの保温水筒、ねじぶた式を探していた方。ありますよ。数年前、倍サイズのをもらって横浜駅前Tデパートで取り替えました。本体はステンレスで、プラスチックのねじぶたをとって直接飲むスタイル。3500円くらいでした。

横浜市鶴見区／佐々木美智子さん
現在もヨドバシカメラなどで扱っていました。2000ml入りで2880円です。ご参考まで。

●66号の鶴田さんの「ただいま子育て奮闘中」を読みました。

孫の布団を買った時、近所の店で、「化繊綿は熱がこもって暑いから、赤ちゃんがかわいそう」と言われ、私も木綿綿の布団にしました。赤ちゃんって汗っかきだから、吸湿性のある木綿の綿がいいと思います。

横浜市港北区／孝子バーバさん

Eco Spot エコスポット

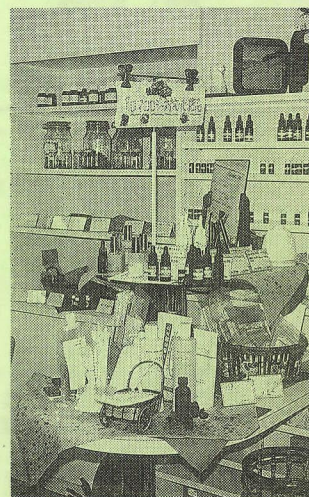
オルタ薬局 あんず

うちに根は同じであることに気づいたと言う。確かにどちらも民間療法に用いられてきたもので、植物がベースになっている。

オルタ薬局あんずが
開業したのは4年前。

「生活クラブ生協の組合員が、自分の健康を自分で管理できるような応援する薬局が欲しい」という思いから出発、話し合いを重ねて、自然治癒力を高める方法として漢方薬やハーブを扱っていいこうという方向性が定まった。今では組合員だけでなく、地域のかかりつけ薬局としての役割も担うようになった。足を運ばない人には電話相談も受け付けている。

界面活性剤や乳化剤・タール色素・合成香料などを使わない化粧品も扱っている。口紅は蜜蝋とホバオイルをベースに雲母の粉末を混ぜて色を出したもの。着色剤は使っていない。エッセンシャル



オイルは、最初にスポイトびんを400円で買い、その後はびんを持参してオイルを詰め替える形で販売している。価格も割安だ。

「ハーブティーが残っていたら、防虫剤として使ってみてください。ティーバッグに防虫効果の強いクローブを足して、タンズに入れるだけでいいんですよ。好みのエッセンシャルオイルを1適落としてもいいし。そんなふうに、あんず薬局を通してハーブや漢方薬を日常生活に取り入れていただく手助けができれば、うれしいですね」

*1 水溶液は腐敗しやすいため化粧水などには微量のバラベンを使用したものもある



三浦明世さん（右）と山口さん

●オルタ薬局あんず 新横浜店
横浜市港北区新横浜2-8-4
オルタナティブ生活館1階
TEL & FAX / 045・472・0016
営業時間 / 10:00~18:00
定休日 / 日曜・第2土曜
張瑞傑先生無料相談 / 第2・4火曜（要予約）
薬膳・食養生相談 / 木曜

薬局内では月に1~2回、自分に合ったハンドクリームや天然クリーナー作り、ハーブを使った石けんやリース作りなどのミニ講座を開いている。薬膳の通信教育や漢方医学の講座、また漢方やハーブについてももっと知っていただくための出前講座も意欲的に行っている。「出前講座の内容は、『ハーブで肩こり解消』『アトピー性皮膚炎や更年期、冷えなどに対する漢方の処方』といったような内容がいくつか用意してありますが、希望に合わせることがありますのでご相談ください」3月末、藤沢店がオープンした。

2000年2月現在

リサイクル標準価格表

品名	買入価格*	業者の売値 日経2/24
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** 0円	4.5~5.5円
雑誌	** -3円	0~1円
段ボール	** -3円	2~2.5円
衣類くず	** -3円	3円
アルミ缶	**** 10~15円	

*集団回収には「買入価格」が適用されます **有料です

有料の場合があります *スチール缶などと選別済の価格です

★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。また取引条件により多少変化します。

★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。

事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。

★段ボールは必ず束ねて出してください。

2000年1月現在

回収実績表

オフィス古紙 共同回収	アルミ缶 店頭回収
'00.1 参加企業12社 17,650kg	'00.1 市内スーパー等103店 49,055kg (2,649,330缶)
横浜橋通商店街 ダンボール回収	
'00.1 14,470kg	

リサイクルデザイン編集室から

●3月号で次の誤りがありました。申し訳ありません。

●9ページ「どうなってるの?リサイクル」一番下の段2行目 環境負荷を上げる↓下げる

●12ページ「この数字なんだ?」上段1行目 2キロピコグラム(2pg) ↓2ピコグラム(2pg)

●リサイクルに関してのご質問は、リサイクルデザイン編集室W H A T S リサイクル?まで。FAX・郵便でどうぞ。ご質問には必ず住所・氏名・FAX番号をお書き添えください。

FAX 045・316・5122

●小結くんを扱いはじめたお店です。

・ブックショップふれあい戸塚店

横浜市戸塚区吉田町松岡ビル1F

045・865・3516

・ブックショップふれあい大船店

鎌倉市小袋谷1-7-34 アストラメゾン101

0467・48・6248

●リサイクルデザインは次の場所にも置いてあります

▼マルエツ井土ヶ谷店/イトーヨーカドー上永谷店/

神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店/安田火災海上保険横

浜支店/東京ガス環境エネルギー館/マリンスポーツ

デスク・リッパル(鶴見カミン5F)/グリーンバザー

ル(南区六ツ川)・ブックショップふれあい戸塚店(ダ

イエー横)・大船店

▼相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川

店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食

品館・白根店生活館・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・

左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東

寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望が丘店・並木店・

南まきが原店・中田店・いちよう店・南瀬谷店・ひな

た山店・ドリームランド店

▼4月号から次の各店にも▼マイカル天王町サティ店

/ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店

小結くんを使いこなすために、
小結くんボックスができました。

袋に入れて保存しておいた新聞紙を、袋から取り出して小結くん束ねるのは、ちょっと手間がかかるけれど、このボックスで保存すれば手間いらず。新聞紙以外のものが入りこんでも、一目でわかります。長く使えるように作っていますが、ダンボールでできたものだから寿命があります。そんなときでも資源回収に出せば、また再生することができます。価格は1個350円。たくさんまとめると安くなりますので、ご相談ください。束ねるときには、もちろん再生紙紙ひも『小結くん』を使ってください。

お申し込み
お問い合わせ横浜市資源リサイクル事業協同組合
☎045・316・4050 FAX045・316・6050小結くん
BOX

Trademark of American Soybean Association

月刊 リサイクルデザイン
2000年4月号
No.67

発行日 2000年3月25日

発行人 中野聡哉

編集人 宗村隆寛

発行所

横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号

金属ビル3階

TEL & FAX 045・316・5122

広報委員会

山岡秀明・武松昭男

杉山宜利・芦澤博志

竹澤留美

イラスト いとうみき

編集・制作 よしのたかこ
(リサイクルデザイン編集室)

印刷 オリジナルプランニング

©リサイクルデザイン

月刊 リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙を使用しています
お問い合わせは横浜市資源リサイクル事業協同組合へ